

資料17 市民アンケート調査

令和2年7月に、熊本市域に在住する18歳以上の市民及び市民団体に実施した、緑に関する意識や要望のアンケート内容と結果を示します。

市民アンケート用紙

熊本市 緑に関するアンケート調査 調査票

○該当するものに○印をつけてください。該当する複数のものに○印をつけていただく質問や、記入していただく質問もあります。注意してご記入をお願いいたします。
○その他の回答は、() に内容を記入してください。
○アンケート票は両面で印刷していますので、全ての質問へのご回答をお願いいたします。
○令和2年7月16日(木)までに、返信用封筒を用いてご返函くださいますようお願いいたします。

I あなたご自身についておたずねします。

1. 年齢 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_18歳~20歳代 2_30歳代 3_40歳代 4_50歳代 5_60歳代
6_70歳代 7_80歳代以上

2. 居住地 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_中央区 2_東区 3_西区 4_南区 5_北区

3. 居住形態 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_持家・一戸建 2_持家・集合住宅 3_借家・一戸建 4_借家・集合住宅

4. 居住年数 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_5年未満 2_5年~10年 3_11年~20年 4_21年~30年 5_31年以上

5. 職業 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_農林業 2_自営業・経営者 3_公務員 4_会社員 5_主婦・主夫 6_学生
7_無職 8_その他 ()

II 熊本市全体の緑についておたずねします。

1. 緑に関心がありますか。 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1 関心がある
2 少し関心がある
3 あまり関心がない
4 関心がない

*「緑」とは、森林の緑、果樹園や畑、水田の緑、河川の緑、公園の緑、街路樹の緑、学校等の公共施設の緑、生垣や庭木のある住宅の緑、工場や事業所、店舗の緑などを指します。心身をいやし、健康を増進させ、レクリエーションの場、生物が生育・生息する場を提供するとともに、防災性の向上や観光、賑わい形成に寄与する等、様々な役割を持っています。

2. 熊本市全体の「緑」に対して、どのように感じていますか。 (該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。
4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

1 満足している
2 どちらかといえば満足
3 どちらでもない
4 どちらかといえば不満
5 不満である。

3. 熊本市の緑は10年前と比較してどう思いますか。 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1 増えた
2 やや増えた
3 変わらない
4 やや減った
5 減った
6 わからない

4. 熊本市らしいと感じる緑はどれですか。 (該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

1 金峰山系、雁回山等の山々の緑
2 熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑
3 立田山、託麻三山*等の市街地近郊の山々の緑
4 水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑
5 白川、緑川、加勢川、坪井川、井芹川等の川沿いの緑
6 広々とした水田や畑の農地の緑
7 その他 ()

*託麻三山とは、神園山、小神山、戸島山のことで。

5. 中心市街地の「緑」に対してどのように感じていますか。 (それぞれ該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

*「中心市街地」とは、熊本城周辺、熊本駅周辺に広がる市街地です。

<緑の量について> 1, 2に○の方は、多いと思う点を記入してください。
4, 5に○の方は、少ないと思う点を記入してください。

1 量が多い
2 どちらかといえば多い
3 ちょうどいい
4 どちらかといえば少ない
5 少ない。

<緑の質について> *「質」とは、緑による景観、季節感、緑陰、安全性、維持管理等
1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。
4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

1 満足している
2 どちらかといえば満足
3 どちらでもない
4 どちらかといえば不満
5 不満である。

III 現在の居住地周辺の緑についておたずねします。

1. お住まいの周りの「緑」に対してどのように感じていますか。 (それぞれ該当するものに1つ○印をつけてください。また、内容を記入してください。)

<緑の量について> 1, 2に○の方は、多いと思う点を記入してください。
4, 5に○の方は、少ないと思う点を記入してください。

1 量が多い
2 どちらかといえば多い
3 ちょうどいい
4 どちらかといえば少ない
5 少ない。

<緑の質について> *「質」とは、緑による景観、季節感、緑陰、安全性、維持管理等
1, 2に○の方は、満足している点を記入してください。
4, 5に○の方は、不満な点を記入してください。

1 満足している
2 どちらかといえば満足
3 どちらでもない
4 どちらかといえば不満
5 不満である。

2. お住まいの近くで緑を感じる場所はどこですか。 (該当するものに○印をつけてください(複数回答可))

1 森林の緑
2 果樹園や畑、水田の緑
3 河川の緑
4 公園の緑
5 街路樹の緑
6 学校等の公共施設の緑
7 生垣や庭木のある住宅の緑
8 工場や事業所、店舗の緑
9 その他 ()

IV 緑の将来像についておたずねします。

- 1 熊本市全体の「緑」の保全について、どのようにお考えですか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 積極的に保全したほうがよい
- 2 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる
- 3 緑の保全よりも、開発を優先する
- 4 その他 ()

- 2 熊本市で緑を重点的に保全していくべき場所はどこだと思いますか。
(該当するものに〇印をつけてください(複数回答可))

- 1 金峰山系、雁回山等の山々の緑
- 2 熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑
- 3 立田山、託麻三山*等の市街地近郊の山々の緑
- 4 市街地に残る斜面の緑
- 5 水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑
- 6 白川、緑川、加勢川、坪井川、井芹川等の川沿いの緑
- 7 貴重な動植物の生息・生育する緑
- 8 災害の防止に寄与する緑
- 9 お寺や神社の緑
- 10 その他 ()

*託麻三山とは、神園山、小江山、戸島山のことです。

- 3 多様な生物の生息環境を確保するために、どのような取組を進めることが望ましいと思いますか。
(該当するものに〇印をつけてください(複数回答可))

- 1 森林や河川等の自然環境の保全
- 2 市街地での生息環境の創出
- 3 里地里山環境の保全
- 4 外来生物による生態系への影響の防止
- 5 絶滅の恐れがある希少な動植物の保全
- 6 市民、事業者が行う自然保護活動への支援
- 7 自然観察会や講習会等の学習機会の充実
- 8 その他 ()
- 9 わからない

*里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域です。
*外来生物とは、海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物のことです。

- 4 あなたは、「グリーンインフラ」について知っていますか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが意味はよくわからない
- 3 知らない

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能(生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。

V 市街地の緑に関する将来像についておたずねします。

- 1 熊本市の市街地の「緑」の将来像についてどのように思いますか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

*「市街地」とは、住宅や商業施設等の建物が立ち並んでいる地域です。

- 1 緑をふやしたほうがよい
- 2 現状のままでよい
- 3 緑が少なくなってもよい
- 4 その他 ()

- 2 熊本市の市街地で、緑に関する施策を重点的に実施するべき場所はどこだと思いますか。
(該当するものに〇印をつけてください(複数回答可))

- 1 公園
- 2 道路(街路樹)
- 3 河川
- 4 公共施設(学校除く)
- 5 学校
- 6 商業施設やオフィス
- 7 住宅地
- 8 工場や事業所
- 9 その他 ()

VI 公園、街路樹についておたずねします。

- 1 熊本市の「公園」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 公園を増やしていく(公園が少ない場所等)
- 2 公園の数は現状でよいが、施設を増やし利用しやすい公園に改修していく。
- 3 公園の数や利用しやすさは現状で十分である。
- 4 公園を減らしていく。
- 5 その他 ()

- 2 公園の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。
(該当するものに〇印をつけてください(複数回答可))

- 1 ごみが落ちている。
- 2 雑草が伸びている。
- 3 樹木の剪定や伐採をしてほしい。
- 4 樹木が少ないので増やしてほしい。
- 5 トイレの汚れや故障が多い。
- 6 照明が暗い等、照明の明るさが適切でない。照明器具の破損・玉切れが多い。
- 7 遊具等の施設が老朽化している。
- 8 その他 ()
- 9 特になし。

- 3 現在、熊本市の公園は1,000箇所以上あり、今後も宅地の開発に伴い増えていくと予想されます。一方、人口は減少していくことが予想され、現状の公園の維持管理水準を確保することは難しい状況です。今後、公園の運営維持管理についてどのようなことを進めたらよいと思いますか。
(該当するものに〇印をつけてください(複数回答可))

- 1 管理水準が下がっても、市が主体となって維持管理を行う。
- 2 住民(自治会、公園愛護会等)がボランティアで維持管理を行う。
- 3 住民(自治会、公園愛護会等)がボランティアで維持管理するが、市から活動費用の一部を助成する。
- 4 民間企業が公園にカフェ等を整備し、その収益を活用して運営維持管理する。
- 5 その他 ()

- 4 公園の「緑」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 緑が少ないので、樹木等を増やす方がよい。
- 2 樹木等を減らす、もしくは植え替える等をして、管理を充実した方がよい。
- 3 樹木等よりも、広場や施設などが欲しい
- 4 その他 ()

- 5 街路樹についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

- 1 街路樹をさらに増やしていく
- 2 街路樹の定期的な植え替えを行い、現在の量を維持していく。
- 3 街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える。
- 4 街路樹は減らす、もしくは無くしていく。
- 5 その他 ()

- 6 街路樹の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。
(該当するものに1つ〇印をつけてください)

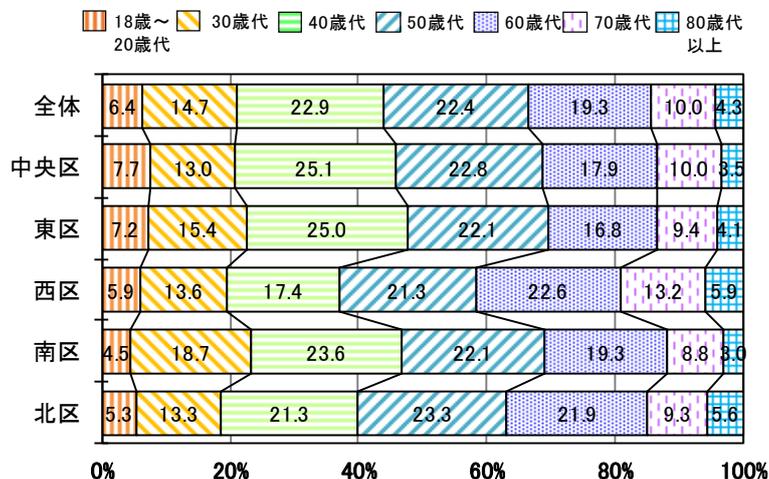
- 1 落ち葉の清掃ができていない。
- 2 高木の剪定ができていない。
- 3 低木の剪定ができていない。
- 4 害虫の対策などができていない。
- 5 除草ができていない。
- 6 巨木化や根上がりにより通行に支障がある。
- 7 その他 ()
- 8 特になし

市民アンケート結果

I あなたご自身について

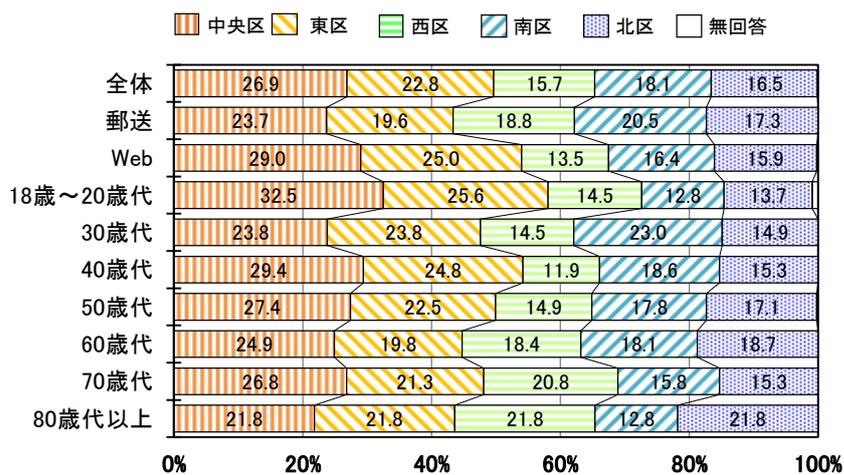
■年齢

○アンケートに回答した方の年齢は、「40歳代」が22.9%、「50歳代」が22.4%と多いです。



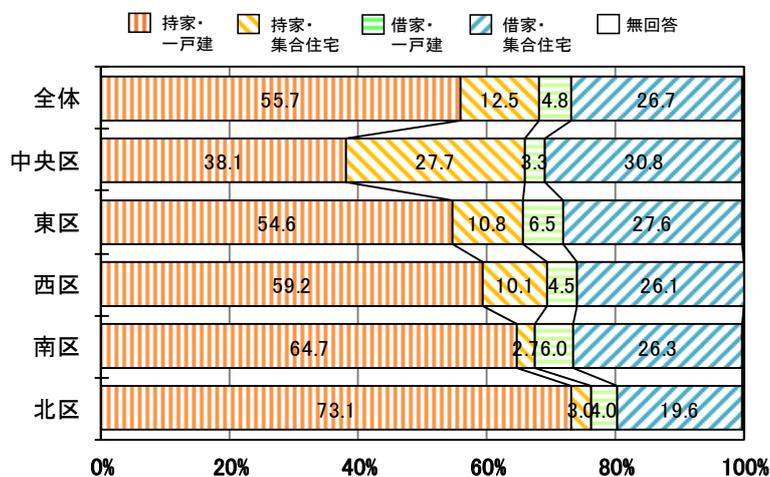
■居住地

○アンケートに回答した方の居住地は、「中央区」が26.9%、「東区」が22.8%と多いです。



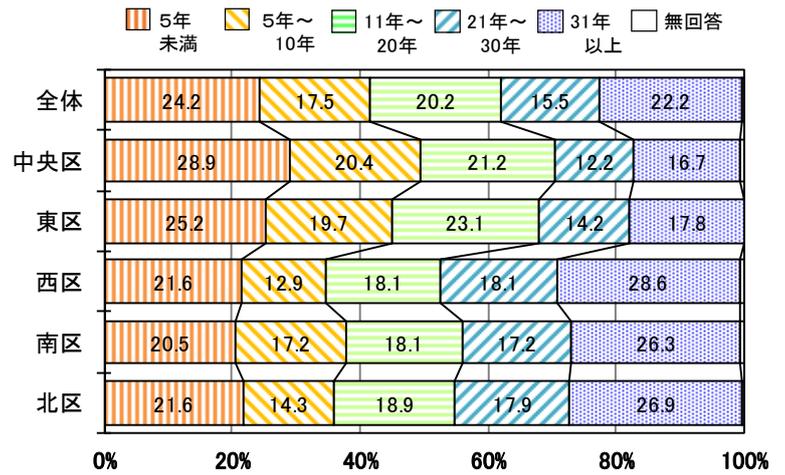
■居住形態

○アンケートに回答した方の居住形態は、「持家・一戸建」が55.7%と多いです。



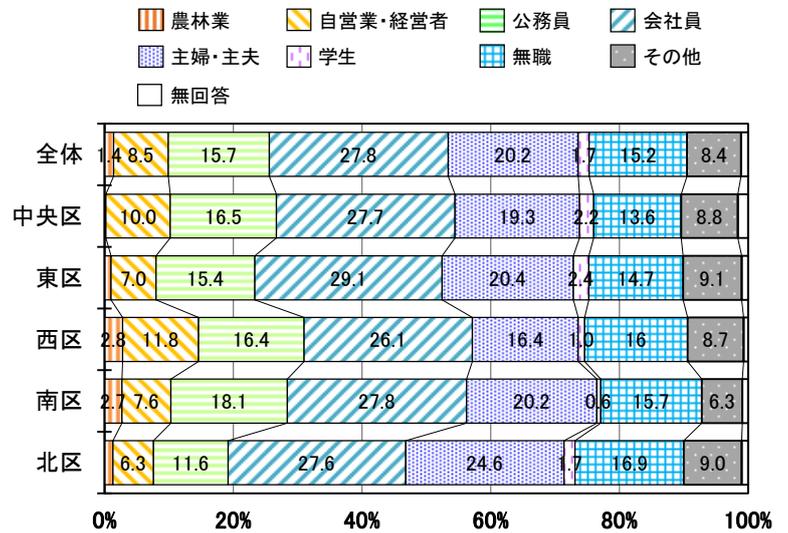
■ 居住年数

○アンケートに回答した方の居住年数は、「5年未満」が24.2%、「31年以上」が22.2%、「11年～20年」が20.2%です。



■ 職業

○アンケートに回答した方の職業は、「会社員」が27.8%、「主婦・主夫」が20.2%です。

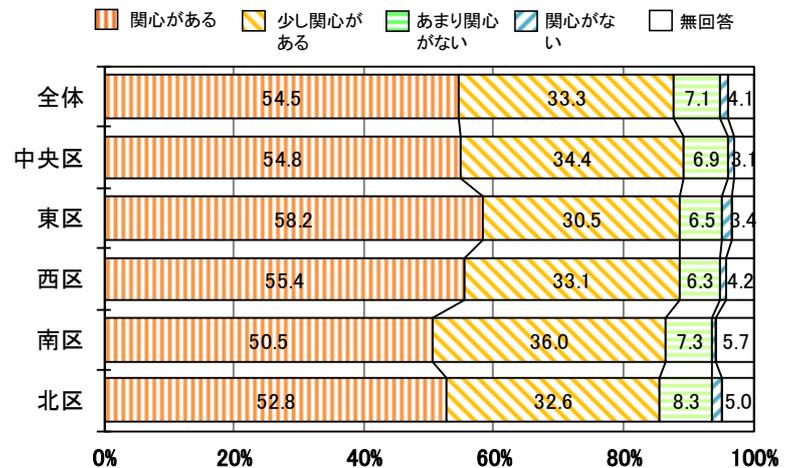


II 熊本市全体の緑について

■ 緑に関心がありますか。

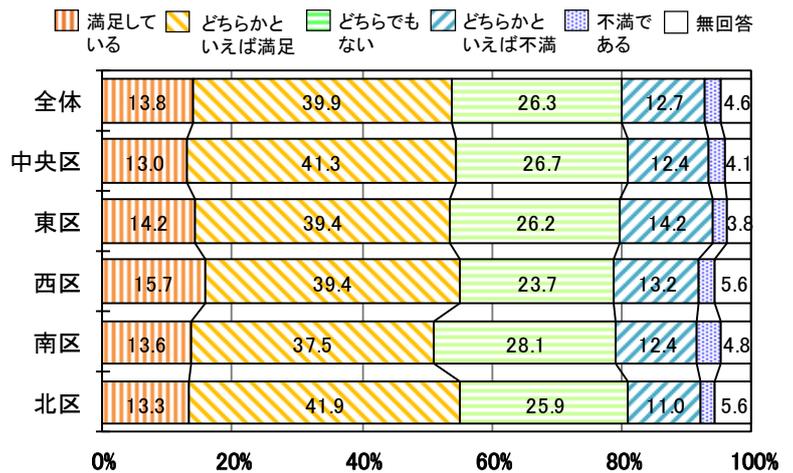
○熊本市全体の緑の関心について、関心がある（「関心がある」、「少し関心がある」の合計）は87.8%です。

○居住地を問わず、緑への関心は高いです。



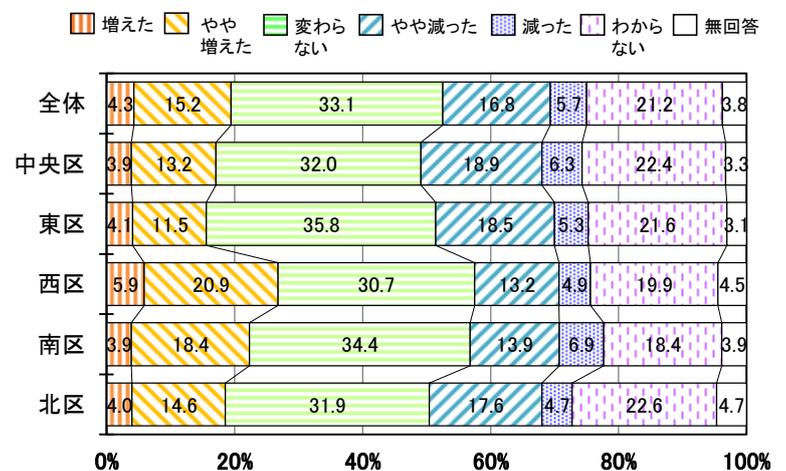
■熊本市全体の「緑」に対して、どのように感じていますか。

○熊本市全体の緑に対して、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」の合計）は53.7%です。



■熊本市の緑は10年前と比較してどう思いますか。

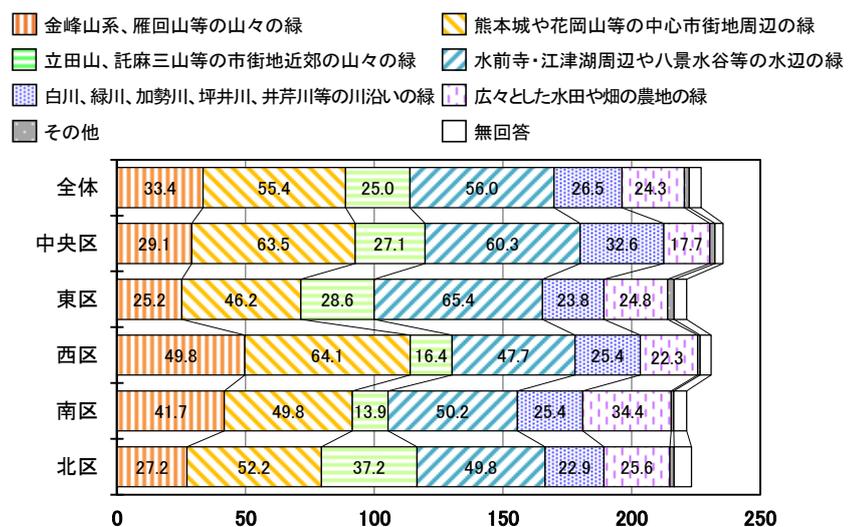
○熊本市の緑は10年前と比較して、「変わらない」が33.1%と多いです。増えた（「増えた」、「やや増えた」の合計）は19.5%、減った（「減った」、「やや減った」の合計）は22.5%と同程度でした。



■熊本らしいと感じる緑はどれですか。

○熊本らしいと感じる緑で多いのは、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」の56.0%、次いで「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」の55.4%です。

○東区は「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」、西区は「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」が多いです。

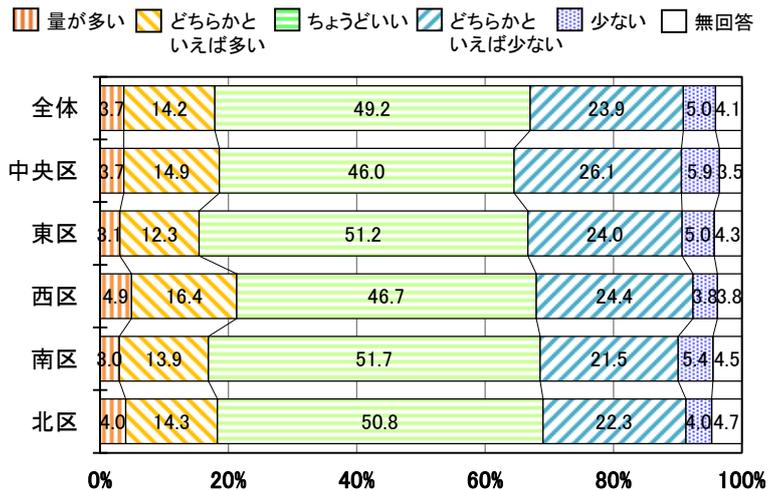


■ 中心市街地の「緑」に対してどのように感じていますか。

※「中心市街地」とは、熊本城周辺、熊本駅周辺に広がる市街地です。

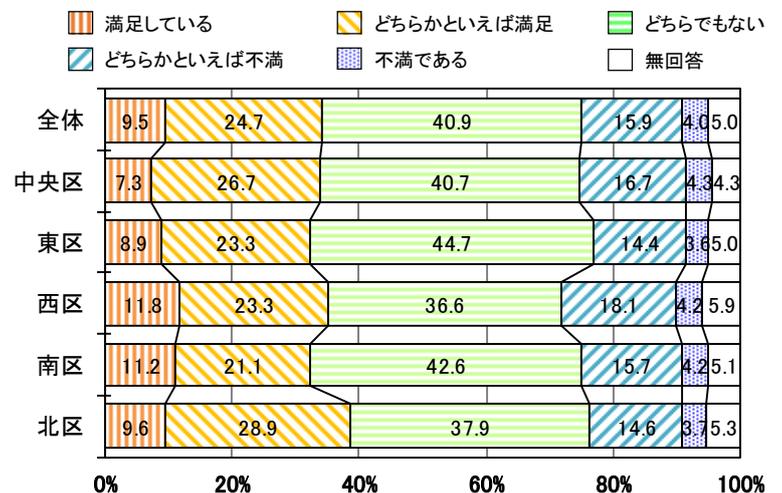
<緑の量について>

○中心市街地の緑の量について、満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」）の合計は67.1%です。



<緑の質について>

○中心市街地の緑の質は、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」）の合計は34.2%です。

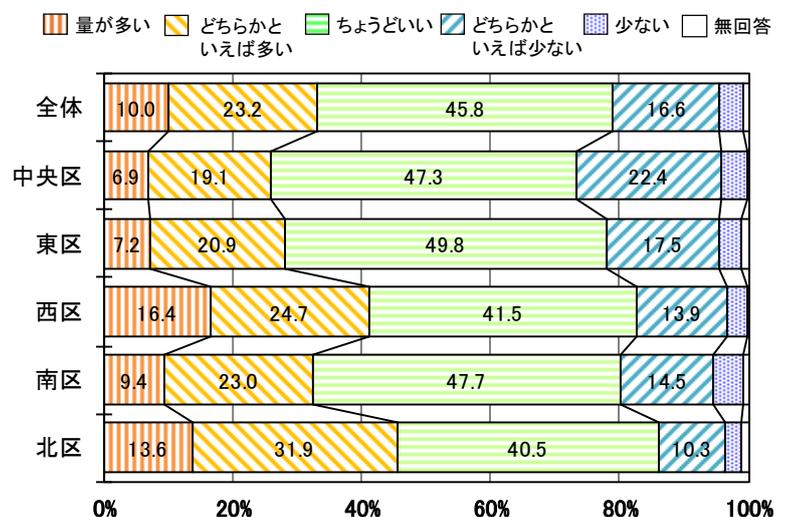


Ⅲ 現在の居住地周辺の緑について

■ お住まいの周りの「緑」に対してどのように感じていますか。

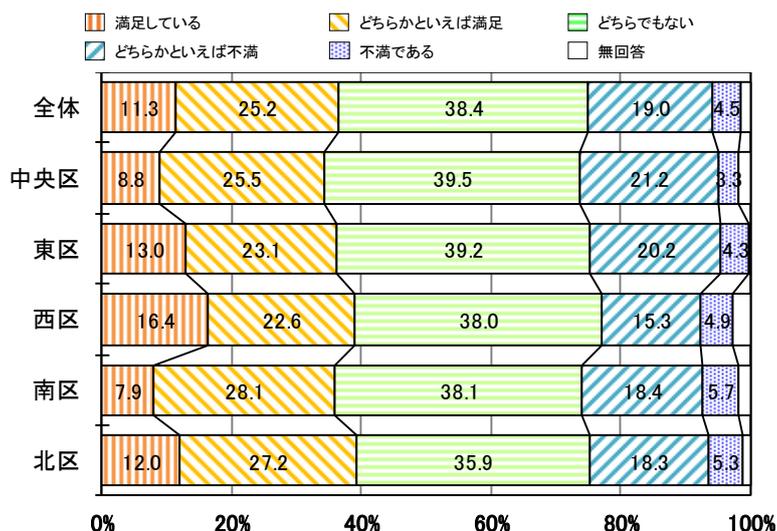
<緑の量について>

○居住地周辺の緑の量について、満足している（「多い」、「どちらかといえば多い」、「ちょうどいい」の合計）は79.0%です。また、北区では86.0%と多く、中央区では73.3%と低いです。



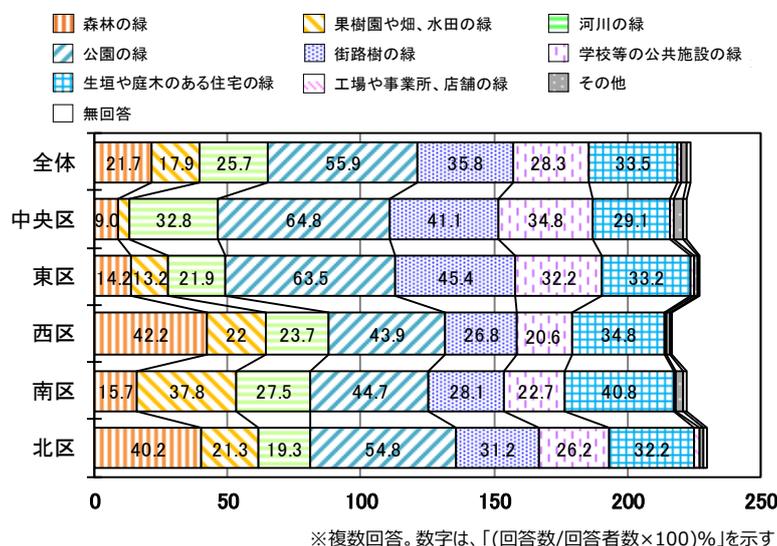
<緑の質について>

- 居住地周辺の緑の質について、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」の合計）は36.5%で、「緑の量」と比較して低いです。
- 西区、北区では、満足している（「満足している」、「どちらかといえば満足」の合計）は、他の区と比較して多いです。



■お住まいの近くで緑を感じる場所はどこですか。

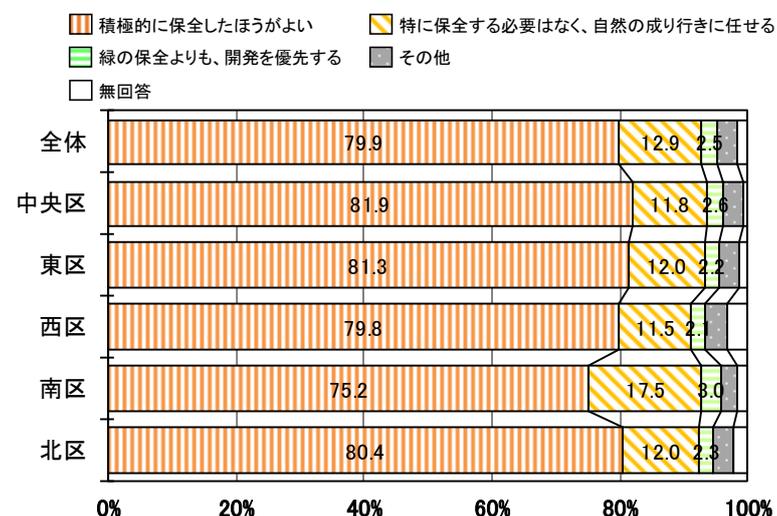
- お住まいの近くで緑を感じる場所は、多い順に「公園の緑」が55.9%、「街路樹の緑」が35.8%、「生垣や庭木のある住宅の緑」が33.5%、「学校等の公共施設の緑」が28.3%、「河川の緑」が25.7%です。
- 西区や北区では、「森林の緑」、「果樹園や畑、水田の緑」、南区では「果樹園や畑、水田の緑」、中央区や東区では、「公園の緑」がお住まいの近くの緑を感じる場所になっています。



IV 緑の将来像について

■熊本市全体の「緑」の保全について、どのように考えますか。

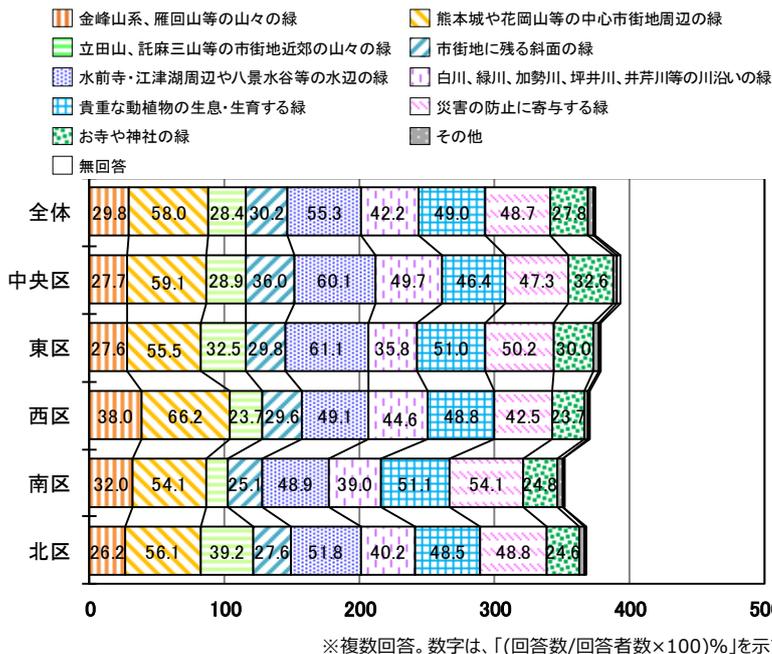
- 熊本市全体の緑の保全は、「積極的に保全したほうがよい」が79.9%と多いです。



■熊本市で緑を重点的に保全していくべき

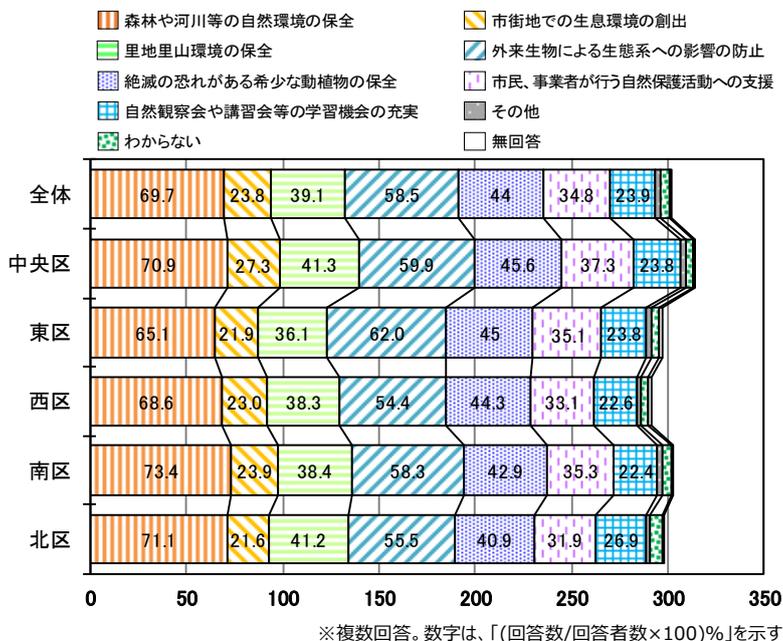
場所はどこだと思いますか。

○熊本市で緑を重点的に保全していくべき場所は、多い順に「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑」が58.0%、「水前寺・江津湖周辺や八景水谷等の水辺の緑」が55.3%と多いです。また、「貴重な動植物の生息・生育する緑」、「災害の防止に寄与する緑」においても49.0%、48.7%と多いです。



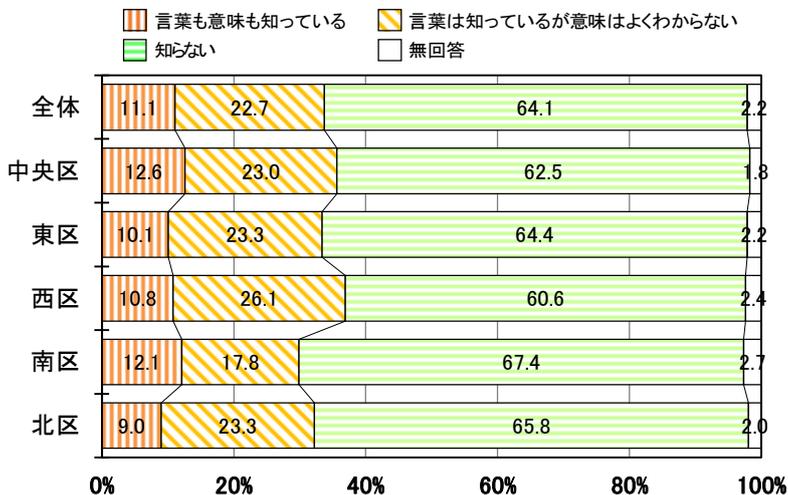
■多様な生物の生息環境を確保するために、どのような取組を進めることが望ましいと思いますか。

○多様な生物の生息環境を確保するための取組は、「森林や河川等の自然環境の保全」が69.7%、「外来生物による生態系への影響の防止」が58.5%と多いです。



■あなたは、「グリーンインフラ」について知っていますか。

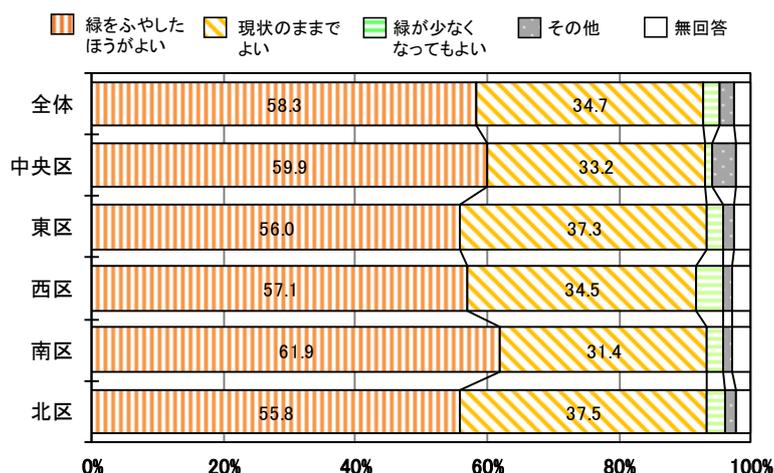
○「グリーンインフラ」の言葉を、「知らない」が64.1%、「言葉は知っているが意味はよくわからない」が22.7%です。



V 市街地の緑に関する将来像について

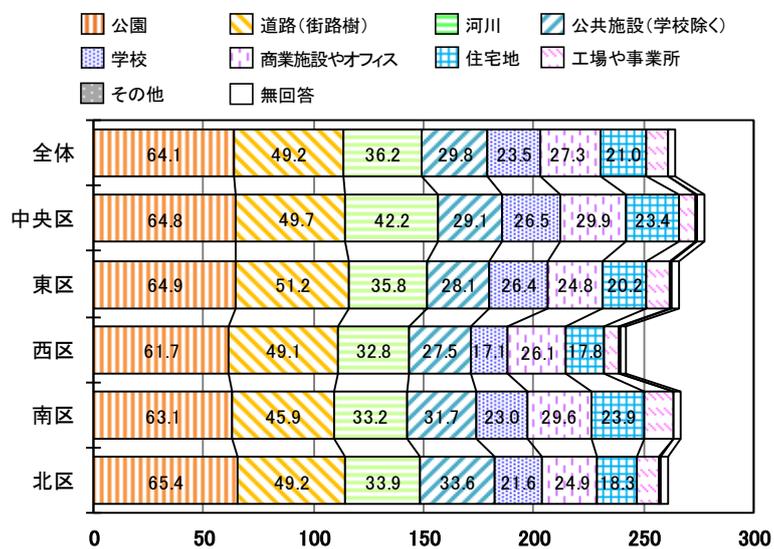
■ 熊本市の市街地の「緑」の将来像についてどのように思いますか。

- 「緑を増やした方がよい」が 58.3%、「現状のままでよい」が 34.7%です。
- 南区では、「緑を増やした方がよい」が 61.9%と他の区と比較して多いです。



■ 熊本市の市街地で、緑に関する施策を重点的に実施すべき場所はどこだと思いますか。

- 「公園」が 64.1%と多く、次いで「街路樹」が 49.2%、「河川」が 36.2%、「公共施設（学校除く）」が 29.8%、「学校」が 23.5%です。
- 中央区では、「河川」が 42.2%と他の区と比較して多いです。

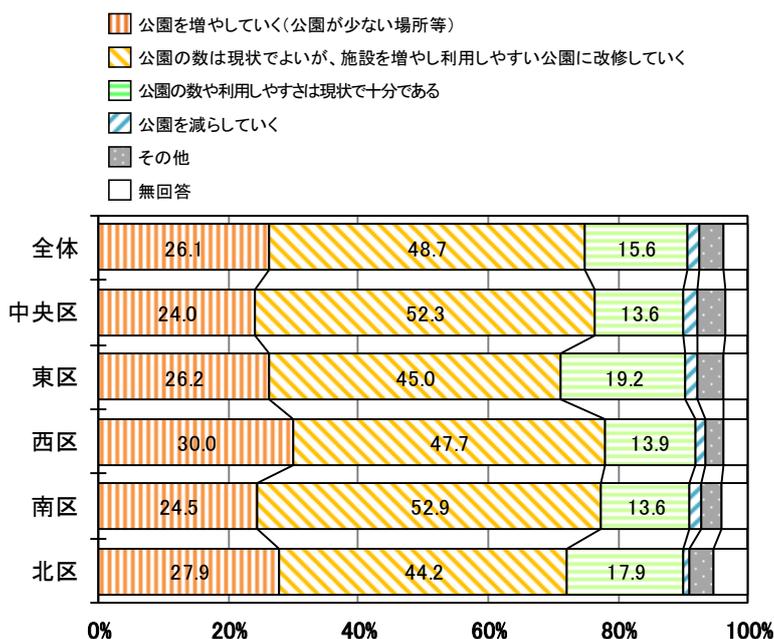


※複数回答。数字は、「(回答数/回答者数×100) %」を示す

VI 公園、街路樹について

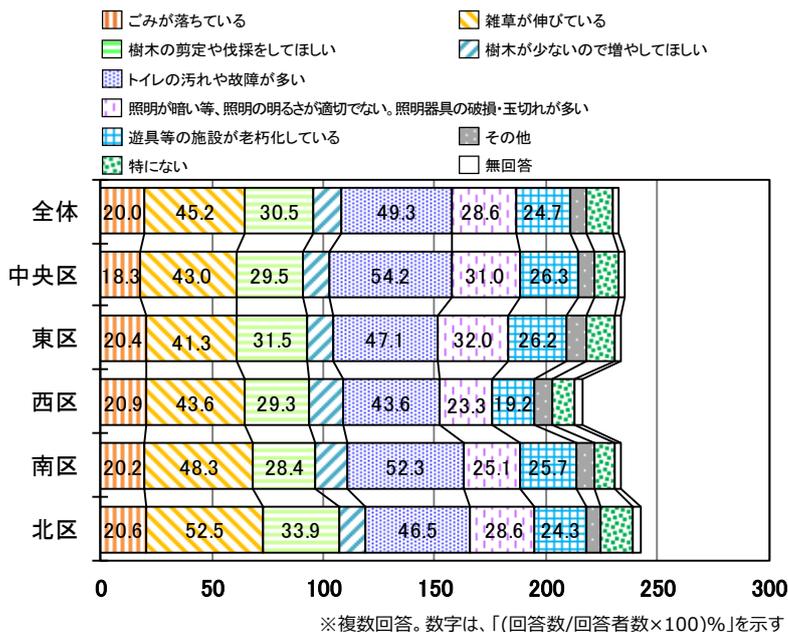
■ 熊本市の「公園」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

- 「公園の数は現状でよいが施設を増やし利用しやすい公園に改修していく」が 48.7%と多く、次いで「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」は 26.1%です。
- 西区では、「公園を増やしていく(公園が少ない場所等)」が 30.0%、北区は 27.9%と他の区と比較して多いです。



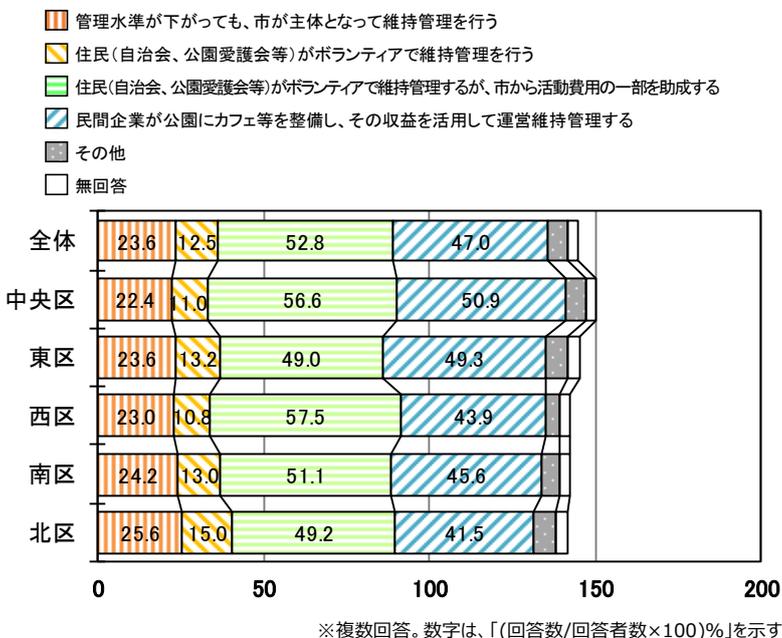
■ 公園の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。

- 公園の維持管理への不満は、「トイレの汚れや故障が多い」が49.3%、「雑草が伸びている」が45.2%と比較的多く、「樹木の選定、伐採」等も多いです。
- 北区では「雑草が伸びている」、中央区、南区では「トイレの汚れや故障が多い」と他の区と比較して多いです。



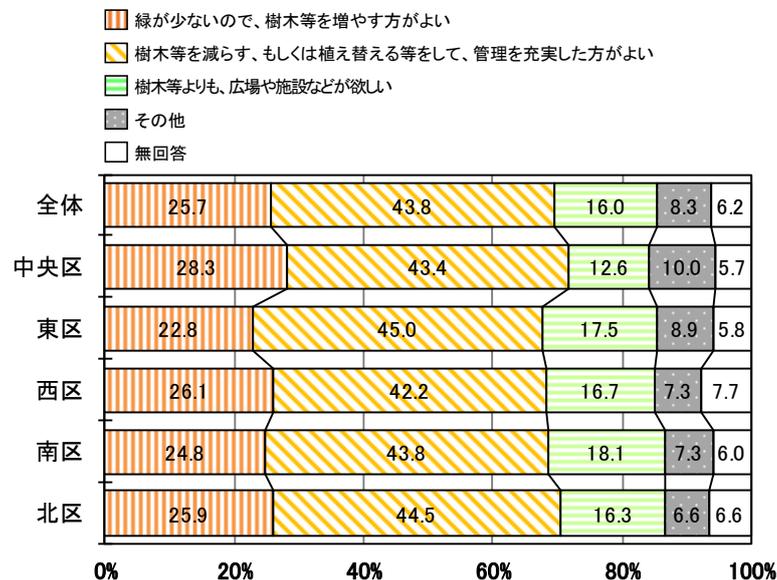
■ 今後、公園の運営維持管理についてどのようなことを進めたらよいと思いますか。

- 公園の運営維持管理は、「住民がボランティアで維持管理するが市から活動費用の一部を助成する」が52.8%、「民間企業が公園にカフェ等を整備し、その収益を活用して運営維持管理する」が47.0%と多いです。
- 西区、中央区では、「住民がボランティアで維持管理するが市から活動費用の一部を助成する」と他の区と比較して多いです。



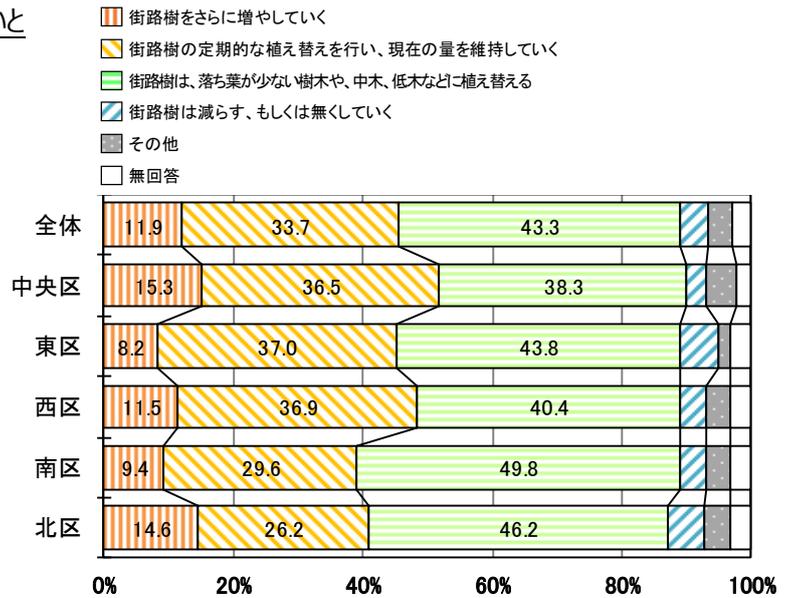
■ 公園の「緑」についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

- 公園の緑のあり方は、「樹木等を減らす、もしくは植え替える等をして、管理を充実した方がよい」が43.8%と多く、「緑が少ないので、樹木等を増やす方がよい」が25.7%です。



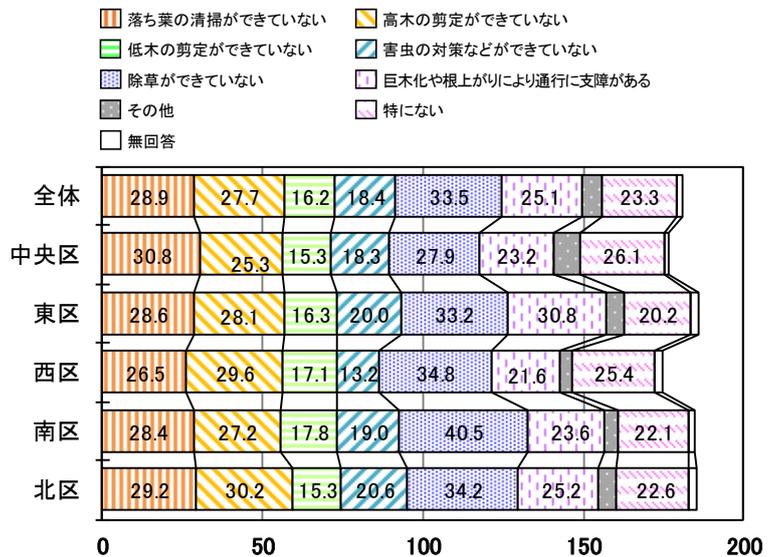
■ 街路樹についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。

- 「街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える」が43.3%、「街路樹の定期的な植え替えを行い、現在の量を維持していく」が33.7%と多いです。
- 南区、北区では、「街路樹は、落ち葉が少ない樹木や、中木、低木などに植え替える」が比較的多いです。



■ 街路樹の維持管理について、不満に感じていることは何ですか。

- 街路樹の維持管理の不満は、「除草ができていない」、「落ち葉の清掃ができていない」、「高木の剪定ができていない」、「巨木化や根上がりにより通行に支障がある」が多いです。
- 南区は、「除草ができていない」、東区は、「巨木化や根上がりにより通行に支障がある」が、他の区と比較して多いです。

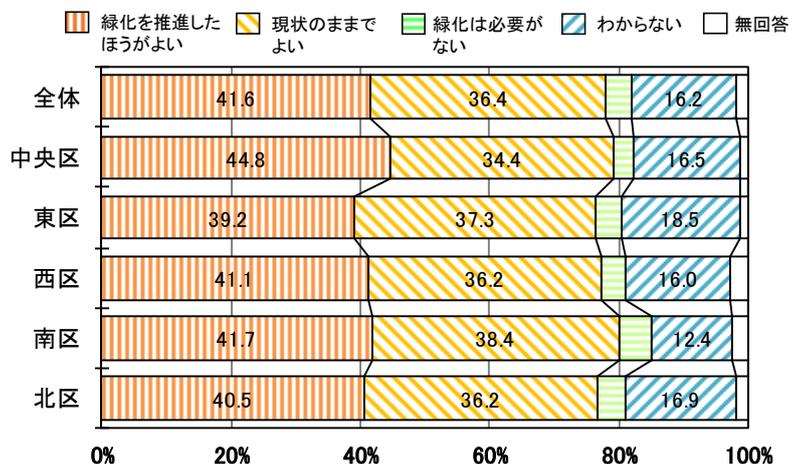


※複数回答。数字は、「(回答数/回答者数×100)％」を示す

Ⅶ 民有地の緑化について

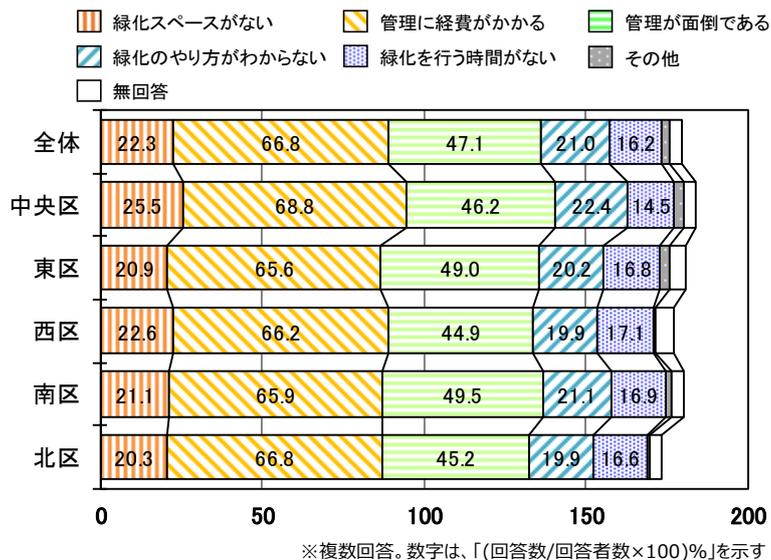
■ 民有地の緑化についてどのように感じていますか。

- 民有地の緑化について、「緑化を推進したほうがよい」が41.6%、「現状のままでよい」が36.4%と多く、「緑化は必要がない」が3.9%と低いです。
- 中央区では、「緑化を推進したほうがよい」が44.8%と、他の区と比較して多いです。



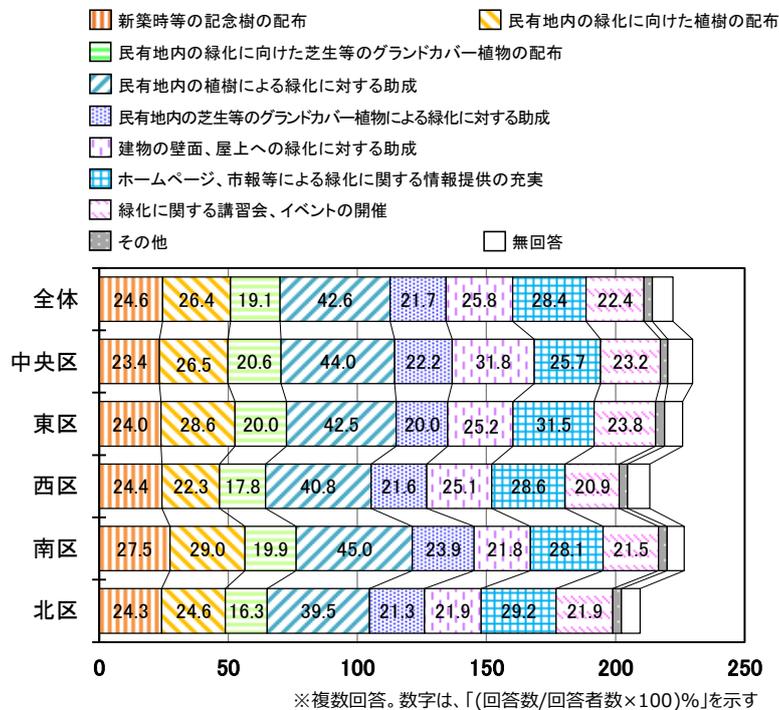
■ 民有地の緑化を図るための課題は何だと思いますか。

○民有地の緑化を図るための課題は、多い順に「管理に経費がかかる」が66.8%、「管理が面倒である」が47.1%、「緑化スペースがない」が22.3%、「緑化のやり方がわからない」が21.0%です。



■ 民有地の緑化を進めるためにどのような助成制度、支援が必要だと思いますか。

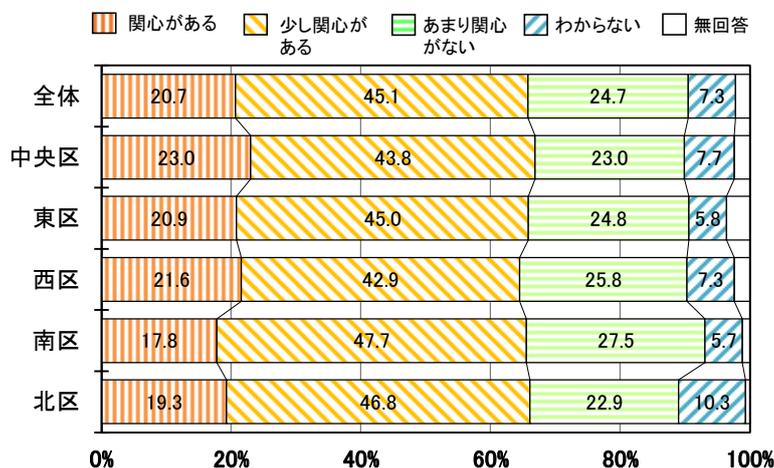
○民有地の緑化を進めるために必要な助成制度や支援は、「民有地内の植樹による緑化に対する助成」が42.6%と多いほか、様々な助成、支援が求められています。



Ⅷ 緑化の推進体制や緑の管理について

■ 緑化や緑の保全活動へ参加することに関心がありますか。

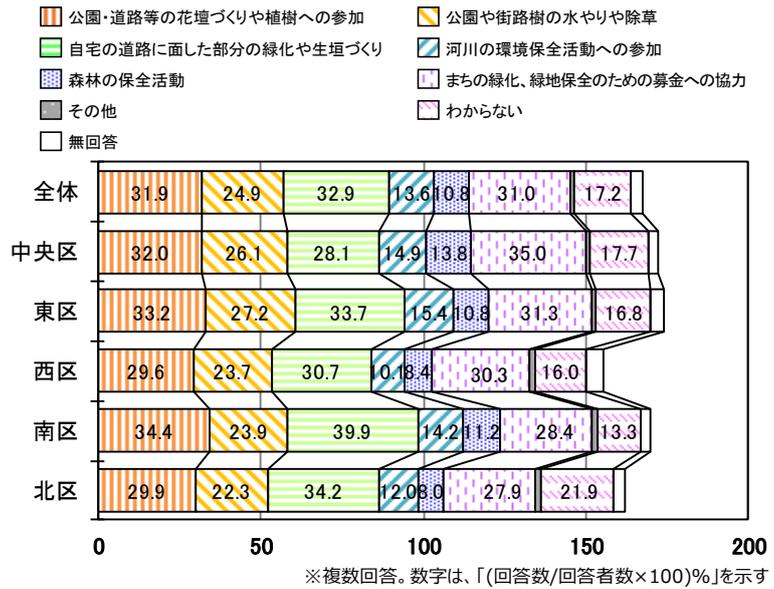
○緑化や緑の保全活動への参加について、関心がある（「関心がある」、「少し関心がある」）のは65.8%です。



■あなたが、参加、協力できそうな緑化、緑の保全活動はありますか。

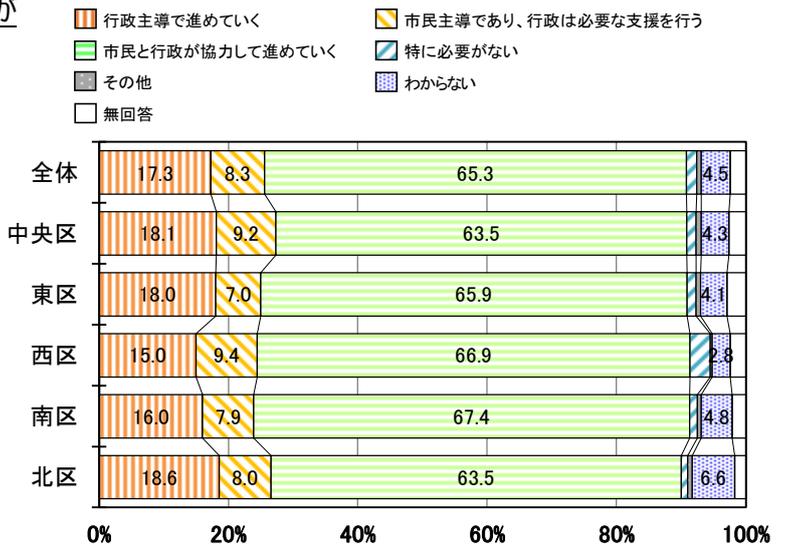
○参加、協力できそうな緑化や緑の保全活動は、多い順に、「自宅の道路に面した部分の緑化や生垣づくり」が32.9%、「公園・道路等の花壇づくりや植樹への参加」が31.9%、「まちの緑化、緑地保全のための募金への協力」が31.0%です。

○南区では、「自宅の道路に面した部分の緑化や生垣づくり」が39.9%と比較的多いです。



■緑化の推進や緑の保全はどのように進めるのがよいと思いますか。

○緑化の推進や緑の保全の進め方は、「市民と行政が協力して進めていく」が65.3%と多いです。



資料 18 市民団体アンケート調査

令和 2 年 7 月に、熊本市の緑に関する市民団体に実施した、活動の概要や要望のアンケート内容と結果を示します。

市民団体アンケート用紙

熊本市 緑に関するアンケート調査 調査票

市民団体

○該当するものに○印をつけてください。該当する複数のものに○印をつけていただく質問や、記入していただく質問もあります。注意してご記入をお願いいたします。
○その他の回答は、() に内容を記入してください。
○アンケート票は両面で印刷していますので、全ての質問へのご回答をお願いいたします。
○令和 2 年 7 月 16 日 (木) までに、返信用封筒を用いてご返函くださいますようお願いいたします。

4 団体構成員の確保をどのようにしていますか。

(該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

- 1 知人もしくは知人の紹介
- 2 行政からの紹介
- 3 協会、連合会からの紹介
- 4 回覧等広報による募集
- 5 順番による交代制
- 6 その他 ()

I 団体についておたずねします。

1. 市民団体の区分 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_公園愛護会 2_街路樹愛護会 3_森林インストラクター

2. 市民団体の活動歴 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_5年未満 2_5年～10年 3_11年～20年 4_21年～30年 5_31年以上

3. 所在地 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_中央区 2_東区 3_西区 4_南区 5_北区

4. 構成人数 (該当するものに1つ○印をつけてください)

1_5名以下 2_6～10名以下 3_11～20名 4_21～50名 5_50名以上

5 他の市民団体との連携をどのように行っていますか。

(該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

- 1 役割分担や情報交換をしながら連携して活動している。
- 2 役割分担が決まっていて連携して活動しているが、情報交換はしていない。
- 3 それぞれが独立して行動しており連携していない
- 4 連携の必要がないので連携していない。
- 5 連携したいが、どのように行っていないかわからない
- 6 その他 ()

6 行政とはどのような面で関係がありますか。

(該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

- 1 助成金や物資の配布
- 2 活動予定・内容の情報提供や情報交換
- 3 問題が起こった場合の相談・対応
- 4 研修会や観察会などイベント開催の相談
- 5 その他 ()

II 現在行っている市民活動についておたずねします。

※コロナ禍以前の状況でお答えください。

1 現在行っている市民活動の内容を教えてください。

(該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

- 1 公園の清掃・除草・植樹等
- 2 街路樹周辺の清掃・除草・植樹等
- 3 森林地域の清掃・除草・植樹等
- 4 研修会・観察会等イベントの開催
- 5 広報誌の発行
- 6 物販などの営利活動
- 7 募金活動
- 8 その他 ()

7 地域住民や市民に理解を得るためにどのような広報活動をしていますか。

(それぞれ該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

<広報活動の方法について>

- 1 ビラやチラシの配布・回覧
- 2 張り紙や掲示板への掲示
- 3 説明会等の開催
- 4 ホームページや SNS への掲載
- 5 特にしていない
- 6 その他 ()

<広報活動の内容について>

- 1 活動予定や実績の報告
- 2 活動の実施に伴う迷惑に対する協力依頼
- 3 活動参加依頼
- 4 団体構成員の募集
- 5 特にしていない
- 6 その他 ()

2 市民活動の活動頻度について教えてください。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

- 1 月2回以上
- 2 月1回程度
- 3 2・3か月に1回程度
- 4 年2～3回程度
- 5 年1回程度
- 6 その他 ()

8 市民活動に必要な資金や物資はどのように調達していますか。

(該当するものに○印をつけてください (複数回答可))

- 1 代表者の自己資金や所有している使用品や不用品の利用
- 2 団体構成員の持ち寄り金や所有している使用品や不用品の利用
- 3 会費からの支出
- 4 外部からの寄付金や寄付されたもの
- 5 行政からの支援
- 6 民間企業からの支援
- 7 イベント実施や物販等による営利活動による事業収入
- 8 その他 ()

3 現在行っている市民活動について、どのように自己評価しますか。

(該当するものに1つ○印をつけてください)

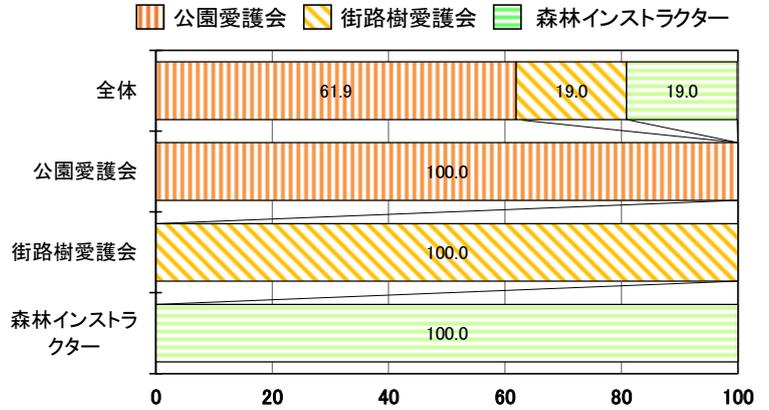
- 1 十分に満足な活動ができている
- 2 ある程度、満足な活動ができている
- 3 あまり満足な活動ができていない
- 4 活動が停滞している
- 5 その他 ()

市民団体アンケート結果

I 団体について

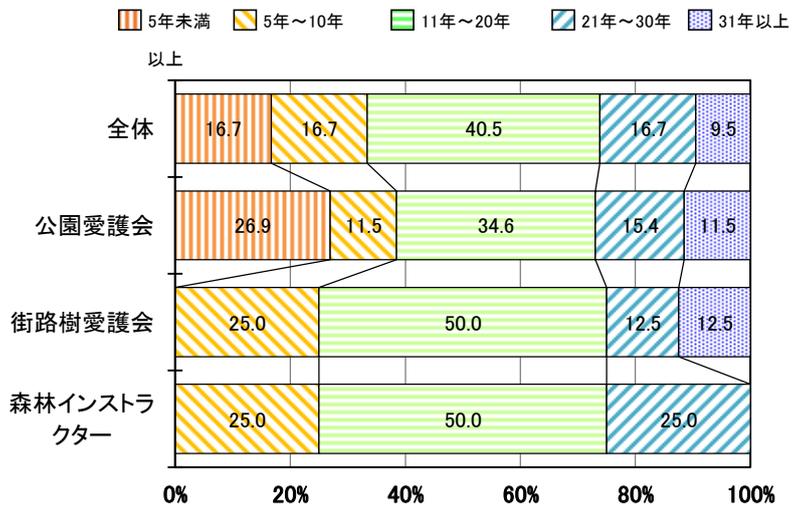
■ 市民団体の区分

○市民団体の区分は、「公園愛護会」が 26 団体（61.9%）、「街路樹愛護会」が 8 団体（19.0%）、「森林インストラクター」が 8 団体（19.0%）です。



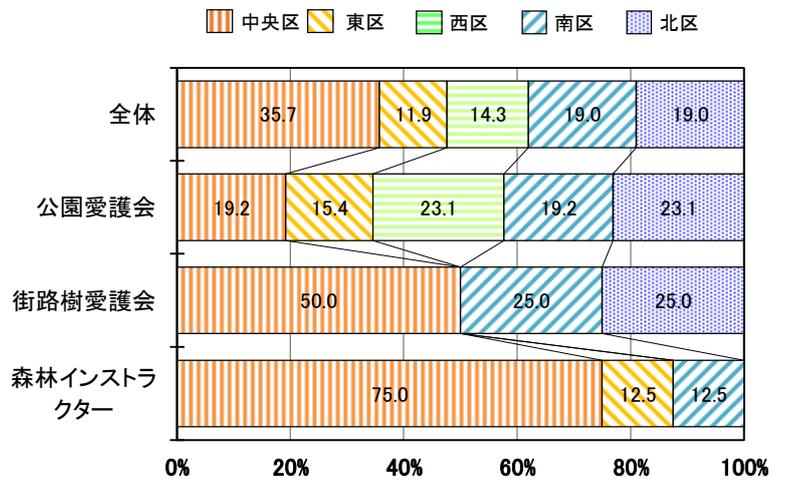
■ 市民団体の活動歴

○市民団体の活動歴は「11～20 年」が 40.5%、「5～10 年」が 16.7%、「21～30 年」が 16.7%です。



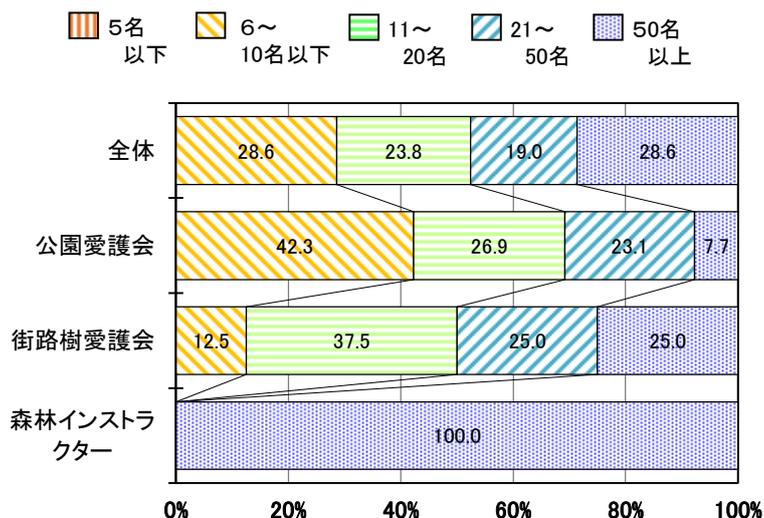
■ 所在地

○市民団体の所在地は、「中央区」が 35.7%と多いです。



■ 構成人数

○ 構成人数は、「6～10名以下」が28.6%、「50名以上」が28.6%、「11～20名」が23.8%です。

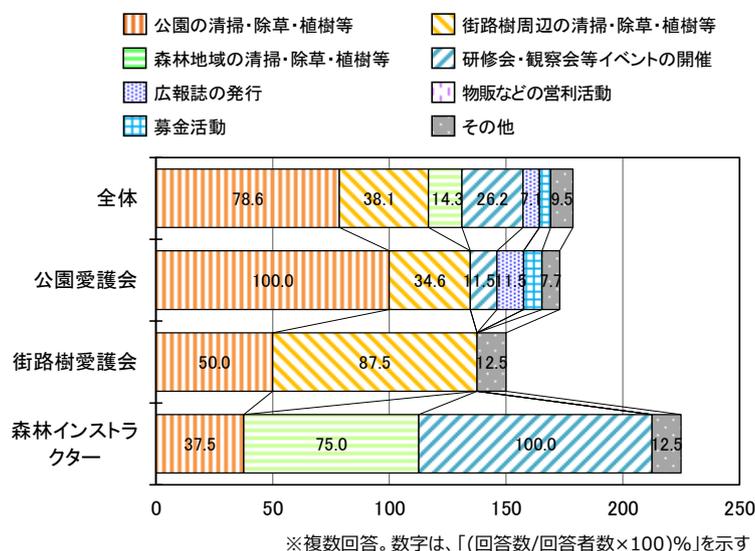


II 現在行っている市民活動について

※コロナ禍以前の状況でお答えください。

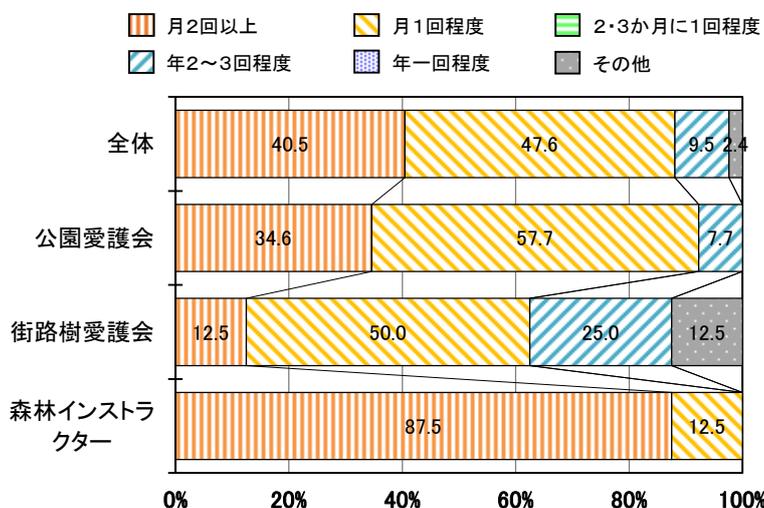
■ 現在行っている市民活動の内容を教えてください。

- 公園愛護会は、「公園の清掃・除草・植樹等」や「街路樹周辺の清掃・除草・植樹等」が多いです。
- 街路樹愛護会は、「街路樹周辺の清掃・除草・植樹等」や「公園の清掃・除草・植樹等」が多いです。
- 森林インストラクターは、「研修会・観察会等イベントの開催」、「森林地域の清掃・除草・植樹等」が多いです。



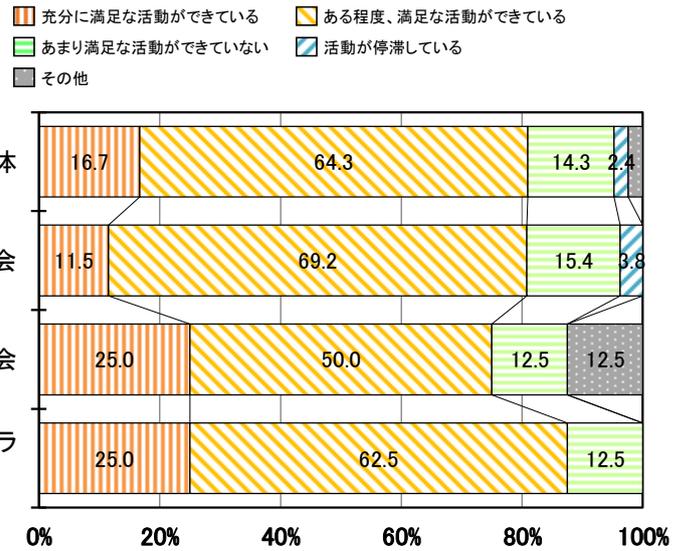
■ 市民活動の活動頻度について教えてください。

○ 活動の頻度は、「月1回程度」が47.6%、「月2回以上」が40.5%と多いです。



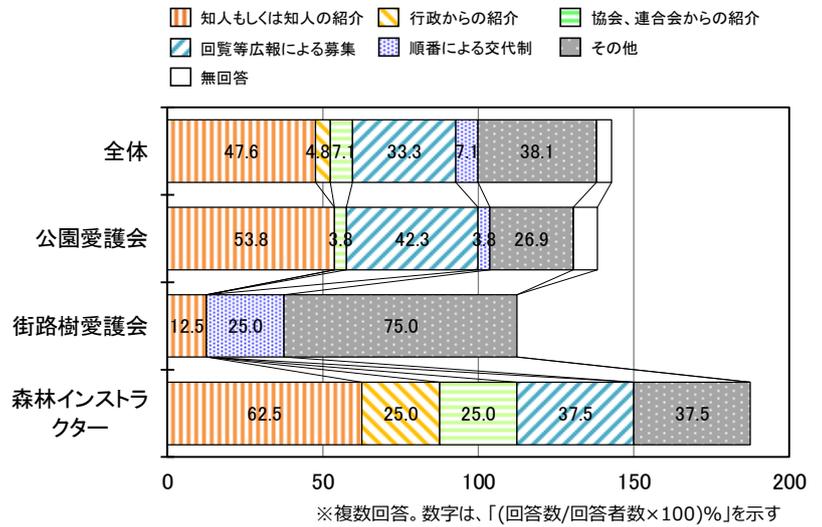
■ 現在行っている市民活動について、どのように自己評価しますか。

○「十分に満足な活動ができている」が16.7%、「ある程度、満足な活動ができている」が64.3%と満足な活動ができている回答が多いです。



■ 団体構成員の確保をどのようにしていますか。

○「知人もしくは知人の紹介」が47.6%、「回覧等広報による募集」が33.3%と多いです。

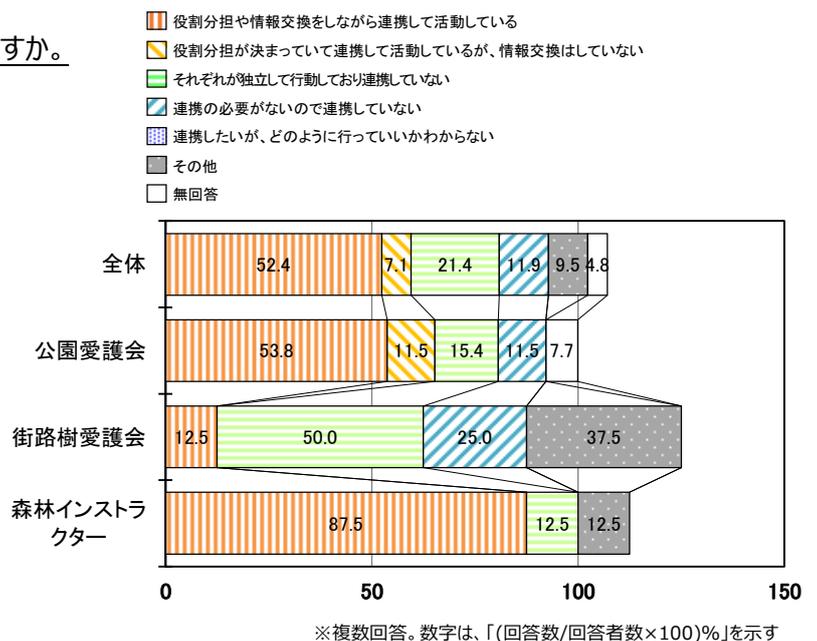


■ 他の市民団体との連携をどのように行っていますか。

○公園愛護会は、「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」が53.8%と多いです。

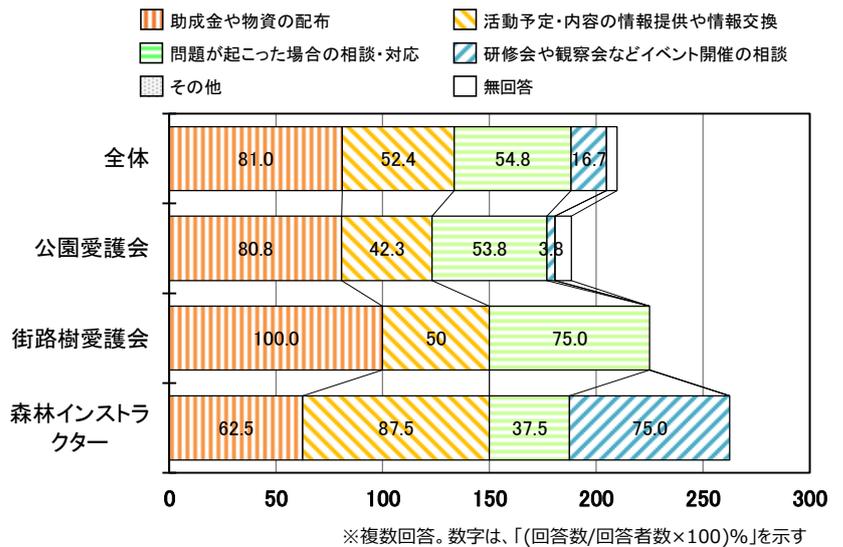
○街路樹愛護会は、「それぞれが独立して行動しており連携していない」が50.0%と多いです。

○森林インストラクターは、「役割分担や情報交換をしながら連携して活動している」が87.5%と多いです。



■ 行政とはどのような面に関係がありますか。

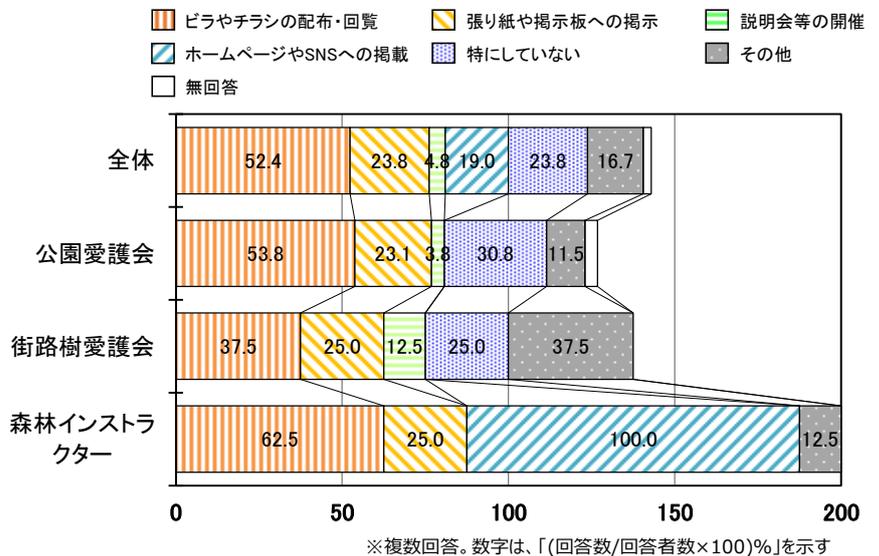
○行政との関係は、「助成金や物資の配布」が81.0%や、「問題が起こった場合の相談・対応」が54.8%、「活動予定・内容の情報提供や情報交換」が52.4%と多いです。



■ 地域住民や市民に理解を得るためにどのような広報活動をしていますか。

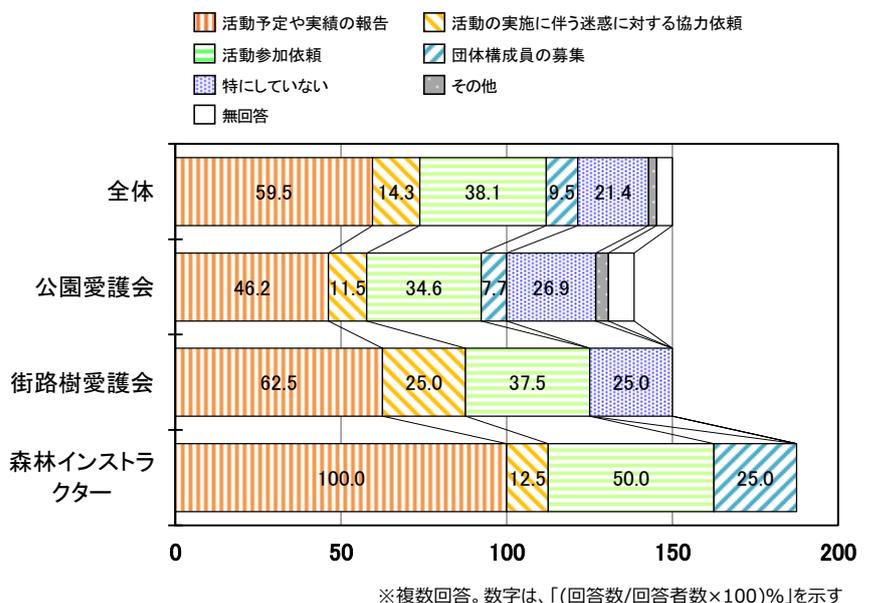
＜広報活動の方法について＞

○広報活動は、「ビラやチラシの配布・回覧」が52.4%と多く、「張り紙や掲示板への掲示」が23.8%、「特にしていない」が23.8%です。



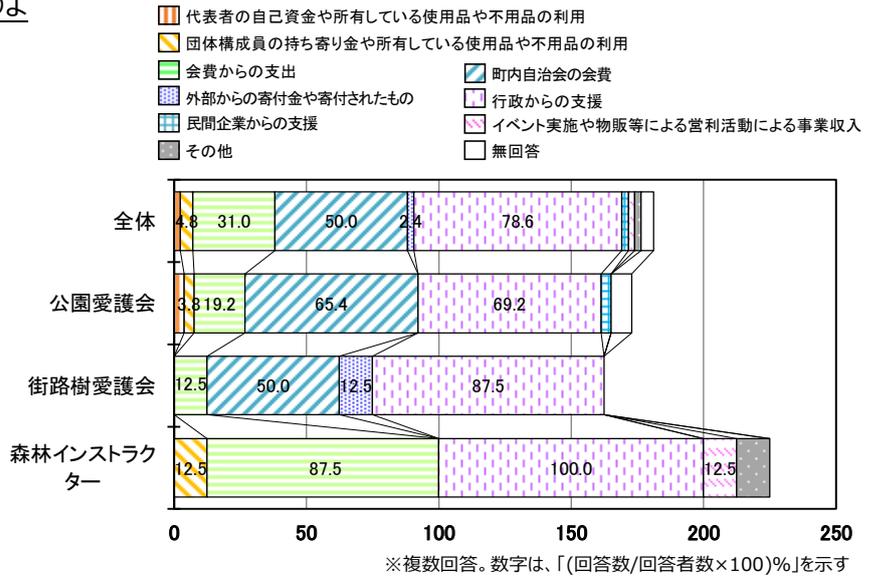
＜広報活動の内容について＞

○広報活動の内容は、「活動予定や実績の報告」が59.5%と多く、次いで「活動参加依頼」が38.1%です。



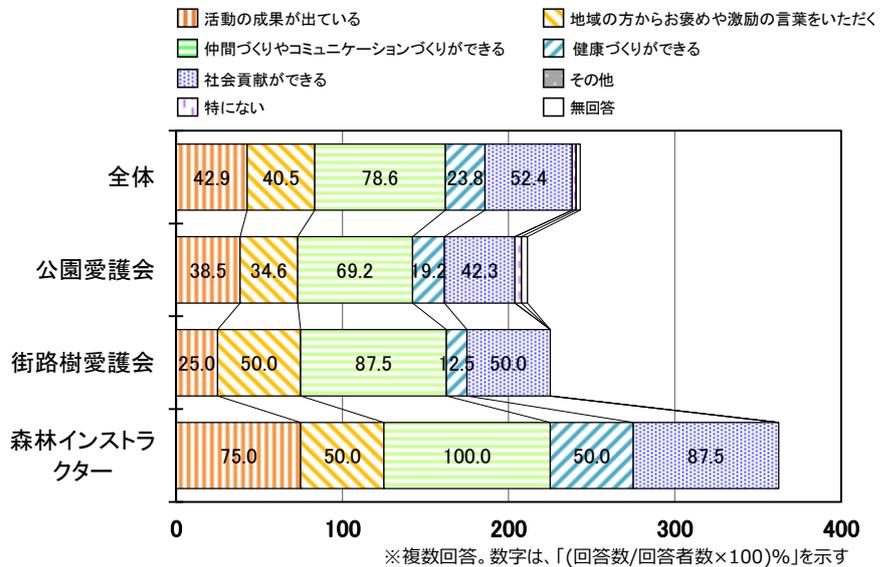
■ 市民活動に必要な資金や物資はどのよ
うに調達していますか。

○ 必要な資金や物資は、多い順に「行政からの支援」が 78.6%、「町内自治会の会費」が 50.0%、「会費からの支出」は 31.0%です。



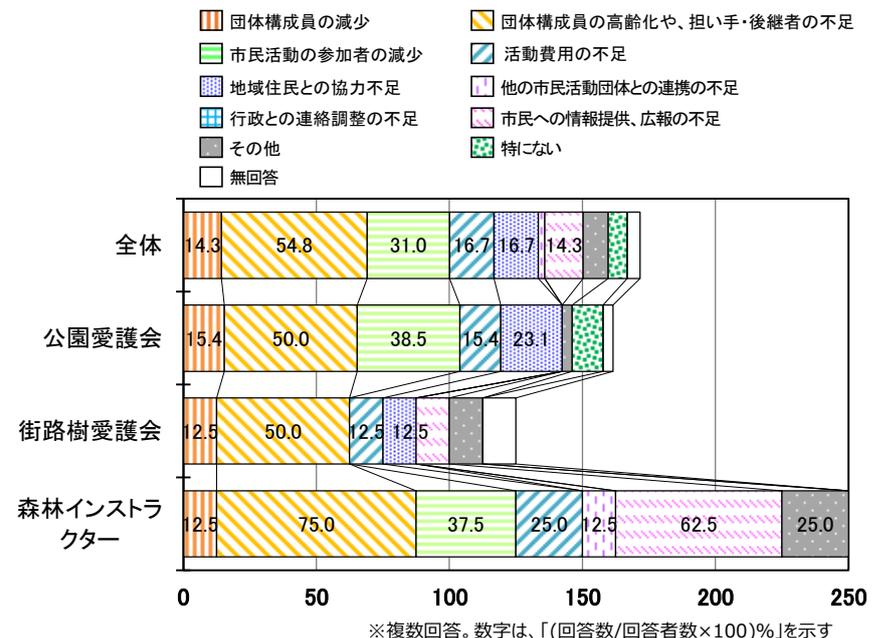
■ 活動を続けていて良かった点は
何ですか。

○ 市民活動を続けて良かった点は、多い順に「仲間づくりやコミュニケーションづくりができる」が 78.6%、「社会貢献ができる」が 52.4%、「活動の成果が出ている」が 42.9%と多いです。



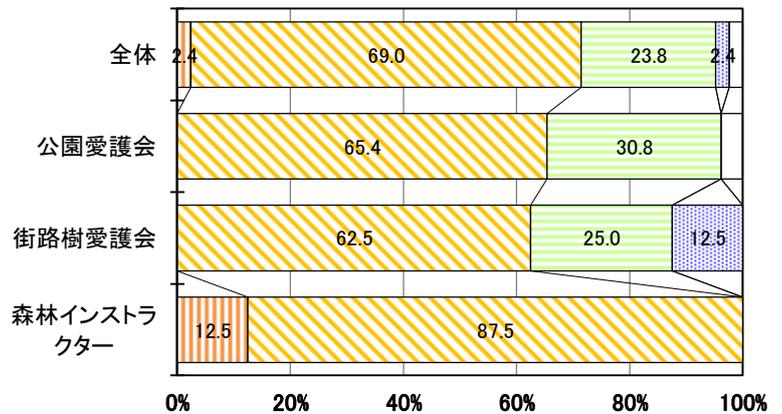
■ 現在行っている活動について、どの
ような問題がありますか。

○ 現在行っている活動の問題は、「団体構成員の高齢化や、担い手・後継者の不足」が 54.8%、「市民活動の参加者の減少」が 31.0%と多いです。



■現在の活動について、活動の継続意欲がありますか。

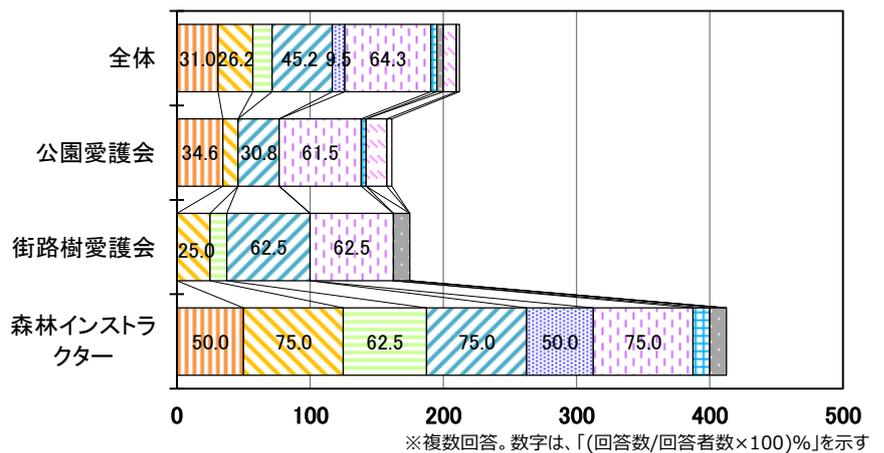
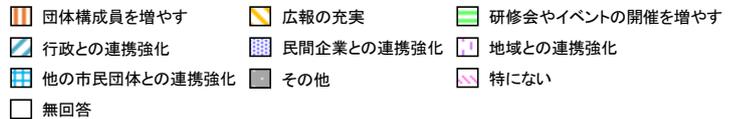
○活動の継続意欲は、「現在の活動を充実していきたい」が69.0%と多く、「現状のままでよい」が23.8%です。



■今後の活動の進め方をどのように考えていますか。

○今後の活動の進め方は、「地域との連携強化」が64.3%、「行政との連携強化」が45.2%と多いです。

○森林インストラクターは、「地域との連携強化」、「行政との連携強化」以外に、「広報の充実」において75.0%の回答がありました。



■今後の活動を進めていくためにどのような支援が必要ですか。

○活動するための支援は、「行政からの助成金や物資を増やす」が52.4%と多いです。

○公園愛護会は、「行政からの助成金や物資を増やす」が61.5%と多いです。

○街路樹愛護会は、「活動をより良くしていくために必要なノウハウや知識の勉強会」が37.5%と多いです。

○森林インストラクターは、「連携を希望している民間企業の情報提供」と「広報活動の支援」が62.5%と多いです。

